



報道機関各位

平成29年 7月21日
函館開発建設部 広報官
電話：0138-42-7702

後志利別川水防工法現地講習会を開催します

～水防技術を高め、自らの地域を守ります～

函館開発建設部では、近年の全国的な水害の多発に鑑み、出水時における水防活動が円滑に実施されるよう、水防団員の水防技術の向上及び伝承を図るため、後志利別川において下記のとおり講習会を行いますので、お知らせします。

後志利別川では、平成9年から3年連続で洪水被害が発生し、地域の自衛意識が高まったことを契機に、平成11年から水防訓練を実施してきました。

17回目を迎える今年度は、「後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会」の6機関等が参加し、出水に備え水防工法を学んでいただきます。

記

- 1 日 時 平成29年7月24日（月）13：30～16：30
（小雨決行）
- 2 場 所 久遠郡せたな町 北檜山区 後志利別川右岸
真駒内川合流点付近 北檜山排水機場前（右岸K P 2. 7）【別紙参照】
- 3 主 催 函館開発建設部 今金河川事務所
- 4 参加者 「後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会」の今金町、せたな町、檜山広域行政組合今金消防署、檜山広域行政組合せたな消防署、災害協定会社、函館建設管理部今金出張所、函館開発建設部のほか、函館開発建設部管内の流域外市町約80名

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 今金河川事務所

所 長 秋山 泰祐（電話番号 0137-82-0041 内線 20）

河川課長 橋本 達也（電話番号 0137-82-0041 内線 31）

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.ml.it.go.jp/hk/>



水防工法現地講習会概要

○後志利別川水防工法現地講習会 ※実施状況はH27の写真

水防工法現地講習会は、災害時に迅速かつ的確な水防活動を実施するために、個々の水防技術の向上と若い世代への伝承を目的として、被災要因別の代表的な水防工法の実技講習を行います。



ロープワーク講習



改良積土のう工
(杭省略型)



シート張り工

◆当日実施される水防工法

・改良積土のう工(杭省略型)

目的:越水防止

堤防の上に土のうを積み上げ、防水シートを使って水が堤防を越流するのを防ぐ工法です。水防工法の基本とも言えるこの工法は、越流水深に応じて、3段積み、4段積み、5段積みがあります。

・シート張り工

目的:法崩壊及び透水防止

水の流れて堤防が削り取られたり、水が漏れたりしないように、防止シートを張り、端部に土のうをくりつけて安定させ、堤防を守ります。

・月の輪工

目的:浸透水の圧力を弱める

堤防の住居側に水が漏れ出したとき、半円形に土のうを積んで、川の水位と漏れた場所との水位差を縮めて圧力を弱め、水漏れが広がるのを防ぎます。

後志利別川では、平成11年8月の洪水時に、この工法が実施されています。

・木流し工

目的:堤防の川側が崩れることを防ぐ

川側斜面に投入した樹木の抵抗力により、堤防表面の河川流速を低減させ、深掘れ(洗掘)の進行を抑えます。

後志利別川では、平成24年4月の斜面崩落時に、この工法が実施されています。

○実施場所

平成29年7月24日(月) 13:30~16:30
 久遠郡せたな町 北檜山区 後志利別川右岸
 真駒内川合流点付近 北檜山排水機場前
 (右岸KP2.7)



現地講習会場